

古河市第8地区コミュニティ誌

岡郷だより

第7号

(令和8年3月10日発行)

発行：第8地区コミュニティ

編集：第8地区コミュニティ広報委員会

【第8地区コミュニティ構成行政区】

上大野 小堤 リバティヒル135
稲宮 関戸 新町

第8地区コミュニティ会員世帯数
1,739世帯

第8地区は旧岡郷村の地域に相当することからコミュニティ誌の名称を「岡郷だより」と名付けました。

第8地区コミュニティは、第8地区の住民相互の交流を促進するとともに、地域に存在するさまざまな課題等を自主的、主体的に解決を図り、ふれあいのある住みよい地域づくりに寄与することを目的に設立されました。「岡郷だより」は、この目的を達成するための広報誌です。

令和8年度 第8地区コミュニティ役員

第8地区コミュニティ新会長ごあいさつ

令和8年度第8地区コミュニティ会長に就任いたします関根進です。コミュニティ会長に就任するのは初めてでどのように活動してよいのか分かりませんが、コミュニティ役員及び凌木前会長に協力をいただきながら1年間活動してまいりたいと思います。

令和7年度は新4号バイパスクリーン作戦が実施できました。令和8年度も実施する予定で計画しております。

活動するにあたりましては前年度と同様に第8地区の皆様及びコミュニティ役員の皆様ご協力よろしくお願いいたします。簡単ですが就任の挨拶とさせていただきます。



会長 関根 進

役職名	氏名	行政区名
会長	関根 進	関戸
副会長	田神 仁志	稲宮
副会長	大山 昌利	上大野
会計	小野寺 良夫	新町
理事	表 敏則	小堤
委員 会報	広報委員 尾沼 卓	リバティヒル135
	広報委員 峰 正	関戸
監事(会計監査)	神田 徳司	上大野
監事(会計監査)	凌木 利行	リバティヒル135

第8地区コミュニティの活動状況

令和7年度 第8地区コミュニティ役員会・総会の開催

- ① 第1回役員会開催 令和7年9月27日(土)
- ② 第2回役員会開催 令和7年11月15日(土)
- ③ 総会開催 令和8年2月21日(土)
(開催場所はいずれも小堤集落センター)

古河市コミュニティ推進協議会全体事業への参加

コミュニティ活動チラシ配布

コミュニティ活動PRチラシ等配布
12月6日(土) 10:00~11:00
ジョイフル本田古河店駐車場
凌木会長・館野副会長が参加

群馬県富岡市役所視察研修

富岡市の地域づくり研修会
令和8年1月14日(水)
富岡市役所
凌木会長・尾沼広報委員が参加

「新4号バイパスクリーン作戦」を実施しました!!

令和8年1月25日(日)、5地区コミュニティ合同による「新4号バイパスクリーン作戦」が開催されました。第8地区コミュニティの担当区割は例年と同様上大野(東)交差点から北へ約1.5kmの区間でした。

第8地区コミュニティからは89名の皆さんに参加していただきました。好天に恵まれ参加者の事故もなく、大量のごみが収集されました。

(令和7年度第8地区コミュニティ 会長 凌木 利行)



各行政区の活動状況

上大野行政区

当行政区の老人クラブ（名称：親愛クラブ）を紹介します。

親愛クラブでは、8月を除き毎月1回交流会（合唱、誕生会、ビンゴ大会等を実施。）を開催しています。

11月の栃木日帰り旅行



また、年間行事としては、花壇づくり（土づくりや花の管理）をはじめ、日帰り旅行や各種スポーツ大会への参加、総和老連芸能カラオケ大会・マイステージへの参加等楽しく活動しています。

「姉妹行政自治会構想」について

古河市では、今後想定される水害に備



久能せせらぎ行政区と覚書締結

厩町自治会と覚書締結



えて、浸水想定区域内・外の助け合い「姉妹行政自治会構想」が始まりました。浸水想定区域外の上大野行政区はその受け入れ拠点として、久能せせらぎ行政区及び厩町自治会と覚書を締結しました。今後、最低限必要な物から揃えていきたいと思ひます。

観音様御開帳について

十二年ごとの午年に巡ってくる葛飾坂東観音開帳が令和8年3月18日から4月17日まで開催されます。皆様のご来場をお待ちしております。

（区長 神田 徳司）

小堤行政区

今年度はコロナ禍も落ち着き、行政区活動が順調に進み、地震対策避難行動講話では、令和6年1月に発生した能登半島地震で能登に派遣された古河市防災課職員が避難所での体験談と、講話会場に持ち込んでいただいた防災用品を参加者が見て触れ、貴重な体験を

することができました。

役員の協力を得て、5年振りに行政自治会親善ソフトボール大会とバレーボール大会に参加出場することができました。スポーツを通じて得られる感動や一体感を再確認し考え深いものがありました。参加していただいた選手の方々には怪我なく無事に終わることができました。

高齢者感謝の会は昨年同様の開催で、カラ

オケや参加者全員でビンゴゲームを楽しんだ後、小堤駐在所井口巡査部長の詐欺及び防犯に対する講話を聴くことができ、お年寄りや参加者の皆様に楽しく有意義に過ごしてもらうことができました。

秋の市民総ぐるみ清掃活動では、地域活動の一環で小堤小学校児童に参加をしてもらいました。

（区長 表 敏則）



8月3日
地震対策避難講座

6月1日
親善ソフトボール大会



8月24日
親善バレーボール大会



9月14日
高齢者感謝の会

リパティヒル135行政区

令和7年度事業は、概ね計画通り進めることができました。5月、9月に春・秋の害虫駆除を目的とした行政区内薬剤散布を天候に恵まれ予定通り実施しました。11月9日には、昨年度に続き第4回目の「ふれあいの集い」を開催しました。この集いは年少者からお年寄りまで全ての世代がふれあえること目的に開催していますが、当初予定ではリパティヒル公園で開催予定でしたが残念ながら雨模様のため場を変更しコミュニティホールにて実施しました。又、例年実施している古河

三国会の演奏も雨模様で中止となりました。輪投げ競技を各世代混成チームの対戦形式で行い、参加者は競技に夢中になり歓声が上がっていました。

自主防災会では9月7日に救命講習会を、11月9日に古河市総和消防署及び古河市消防団第10分団のご協力により新たな企画としてスモーク体験、水消火器による消火訓練を実施しました。特にスモーク体験は、初めての試みでしたが多数の子供、大人が参加し改めて火災の恐ろしさを実感したとの感想を参加者多数の方より頂きました。この体験を活かし更に防災意識を高めて行きたいとの感

想が参加者より有りました。

12月26日は、夕方「防火防犯」パトロールを子供会児童及び保護者、令和寿会（老人会）、古河警察署小堤駐在所、自主防災会役員の合同で実施しました。

（区長 凌木 利行）



輪投げ競技で
ふれあうことができました！



救命講習会



初めてのスモーク体験



「防火防犯」パトロール

稲宮行政区

私が区長に就任してから、行政区の皆様には大変お世話になりました。

ところで、我が行政区も少子高齢化が進んでおり今後の行政区活動も大変不安になっています。ソフトボール、バレーボールなどスポーツ大会は選手が集まらず不参加となり、夏祭りもコロナ禍の影響後、以降開催意欲が盛り上がりず開催されなくなりました。

そのような中、上大野小学校の児童数の減少が進み、全児童数が40人弱となっており、そのため父兄だけでは校庭整備がやりきれないということから協力依頼がありました。役員で検討し協力できる方は支援しようということとなり、多数の方の参加により校庭が大変きれいになりました。学校関係者から大変感謝されました。

12月には自主防災講座を開催し、地震の備えについて参加者全員で勉強しました。

現在、役員の成り手が中々いないため、誰でも役員が務まるように、役員の負担が軽減

された活動を行っていただければと思っています。
(区長 田神 仁志)



12月13日(土)
自主防災講座

関戸行政区

5月18日(日)と11月16日(日)に市民総ぐるみ一斉清掃に参加しました。各町内から大勢の皆さんに参加していただき大変道路等もきれいになりました。



参加者の皆さん

6月1日(日)上大野グラウンドで第16回古河市行政自治会親善ソフトボール大会に参加し練習等の成果が発揮され、Cブロックにおいて見事優勝しました。当日雨で中止になるのではないかと心配しましたが、天気も良く参加した選手、応援に来ていただいた皆さんにお礼申し上げます。



ソフトボール大会 優勝!



バレーボール大会

8月24日(日)に、はなもも体育館で開催された第16回古河市行政自治会バレーボール大会のソフトバレーボールの部に初めて参加しました。小堤小学校の体育館で暑い中練習しましたが残念ながら勝ち残れませんでした。

11月9日(日)、関戸田園センターにおいて開催した防災訓練には多数の皆さんに参加

消防防災課の出前講座



していただきました。古河市消防団第10分団及び古河市消防防災課に在所していただき消火訓練等を行いました。また、白英荘の子ども食堂スタッフに炊き出しの協力によりカレーライスを美味しくいただきました。消防防災課の出前講座では地震の対応等について講義がありました。能登半島地震発生後、災害がいつ起きてもおかしくない状況にあることから、防災訓練の経験を今後の生活に活かしていただきたいと思います。

(区長 関根 進)

新町行政区

行政区内美化運動について

区長以下数名のボランティアの参加により、行政区内の空き地及び空き家の樹木等の伐採整枝作業活動を美化運動の一環として実施しました。令和7年度は10数件実施しました。作業事例を紹介します。

(区長 小野寺良夫)



(樹木の伐採・整枝)

延べ5時間 2名で実施



(樹木の伐採・整枝)

延べ10時間 3名で実施



(樹木の伐採・整枝)

延べ5時間
5名で実施



(草刈り)

延べ6時間
1名で実施



(樹木の伐採・整枝)

延べ7時間 7人で実施

第 8 地区・地域活動の紹介



古河市こどもの居場所ネットワーク

『古河市こどもの居場所支援事業・とまりぎ』を社会福祉法人下総プリンスクラブ（白英荘）が参画する事業体が受託しました。

社会福祉法人下総プリンスクラブ（理事長：宇田明良）は、(株)公文教育研究会と認定NPO法人茨城NPOセンター・ commonsと共同で事業体をつくり、「古河市こどもの居場所支援事業」を受託いたしました。（事業期間：令和7年10月～令和12年3月）

古河市の調査によると古河市のこどもにとって、ほっとできる居場所は現在自宅のみであり、自宅や学校以外の居場所を持つこどもは多くありません。仮に自宅が居場所でなくなってしまうと、たちまち孤独や孤立状態に陥ってしまうなど、こどもにとって良い環境とは言い難い状況です。一方で、こどもが居場所を複数持つことで、こどもの状態が好転することが期待されています。

居場所をこどもにとっての「インフラ」と捉える古河市は、令和7年度から施行されている「古河市こども計画」の重点施策に本事業を位置付け、「古河市のこどもが『自分が自分らしくいられる居場所』を多数持つこと」を目指しています。

本事業は、事業体自らが居場所を運営する

のではなく、市内に多くの「居場所」が生まれることを目的としています。そのため、居場所の運営者や団体、支援を希望する人や企業などのネットワークを構築し、子どもたちの健全な育成と福祉の向上に寄与することを目指します。

ここでいう「居場所」とは、行政を除く地域の運営者（民間企業、NPO、任意団体、個人等）が、こどもが誰でも来られる場所を用意し、様々な活動を行なうもの（※特に何もせず、ただゆっくりすることを含む）としています。例えば、こども食堂や無料塾、駄菓子屋、フリースクールやプレーパークなどが想定されています。

事業体では、居場所をつくりたい方や運営中の方への支援をおこないます。また、居場所を寄付やボランティアで支えたい方や企業を募集しています。みなさまのお力をお貸しください。

詳しくはとまりぎのホームページ【古河市こどもの居場所ネットワーク・とまりぎ】をご覧ください。

古河市こどもの居場所支援事業



古河市こどもの居場所ネットワーク・とまりぎ



【お問い合わせ先】
古河市こどもの居場所ネットワーク・とまりぎ
〒306-0231 茨城県古河市小堤1796-2
社会福祉法人下総プリンスクラブ白英荘内
Email : info@koga-tomarigi.org
TEL : 0280-23-6182
FAX : 0280-23-6183



岡郷人

舘野洋二さんが舞台「鷹見久太郎物語」に出演します!!

今回の岡郷人は舘野洋二さんを紹介いたします。

小堤在住の舘野さんは令和7年度第8地区コミュニティ副会長として活動していらっしゃいますが、20歳代から趣味で演劇を始め50数年続いているそうです。現在、古河第1中学校演劇部の指導を行っているほか、古河市のアマチュア劇団「児童劇団遊童舎」で毎年公演し、演技指導を行うとともに役者としても舞台上で活躍しています。

令和8年3月21日及び22日、古河市合併20周年記念として、鷹見久太郎生誕150周年記念の舞台「鷹見久太郎物語」が野本電設コスモスプラザで上演さ

れますが、舘野さんが久太郎の老年期役で出演します。

「鷹見久太郎物語」は、古河市生まれで大正時代に雑誌編集者として活躍した鷹見久太郎の生涯を描く舞台です。この舞台には、古河大使の俳優渡辺裕太さん、井上高志さんも出演します。

(広報委員 尾沼 卓)



渡辺裕太さん・井上高志さんが令和7年11月市長・教育長を表敬訪問した際の写真

「岡郷だより」は、ふれあいのある住みよい地域づくりに寄与するため、第8地区の地域情報を年1回3月に発行しお伝えしています。第8地区コミュニティでは、発行に対する賛助者（事業者、個人を問いません。）を募集し、賛助金をいただきましたら「岡郷だより」にお名前を掲載させていただき読者に紹介させていただいています。賛助ご希望者様は、令和8年度広報委員（尾沼）までご連絡をお願いします。（発行賛助金額は、3,000円をお願いしております。）

広報委員 尾沼 卓 090-3436-6923

賛助金のご報告

「岡郷だより」第7号の発行に際し、**フルトプロダクツ工業株式会社様**より賛助金のご協力をいただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

令和7年度は古河市が合併してから20周年ということで例年の催事が20周年記念として催されています。この20年を節目として捉えると、これまでの歩みを振り返り、未来への持続性を高めるための転換点であるということだそうです。この節目を単なる通過点として

だけではなく転換点として捉えることにより有意義に未来を考えることができるのではないのでしょうか。

令和7年度広報委員会
広報委員 峰 正
広報委員 尾沼 卓